

《物流技術管理士資格認定講座 2015年度におけるリニューアルのポイント》

ポイント①:より実務で成果を出していただくために

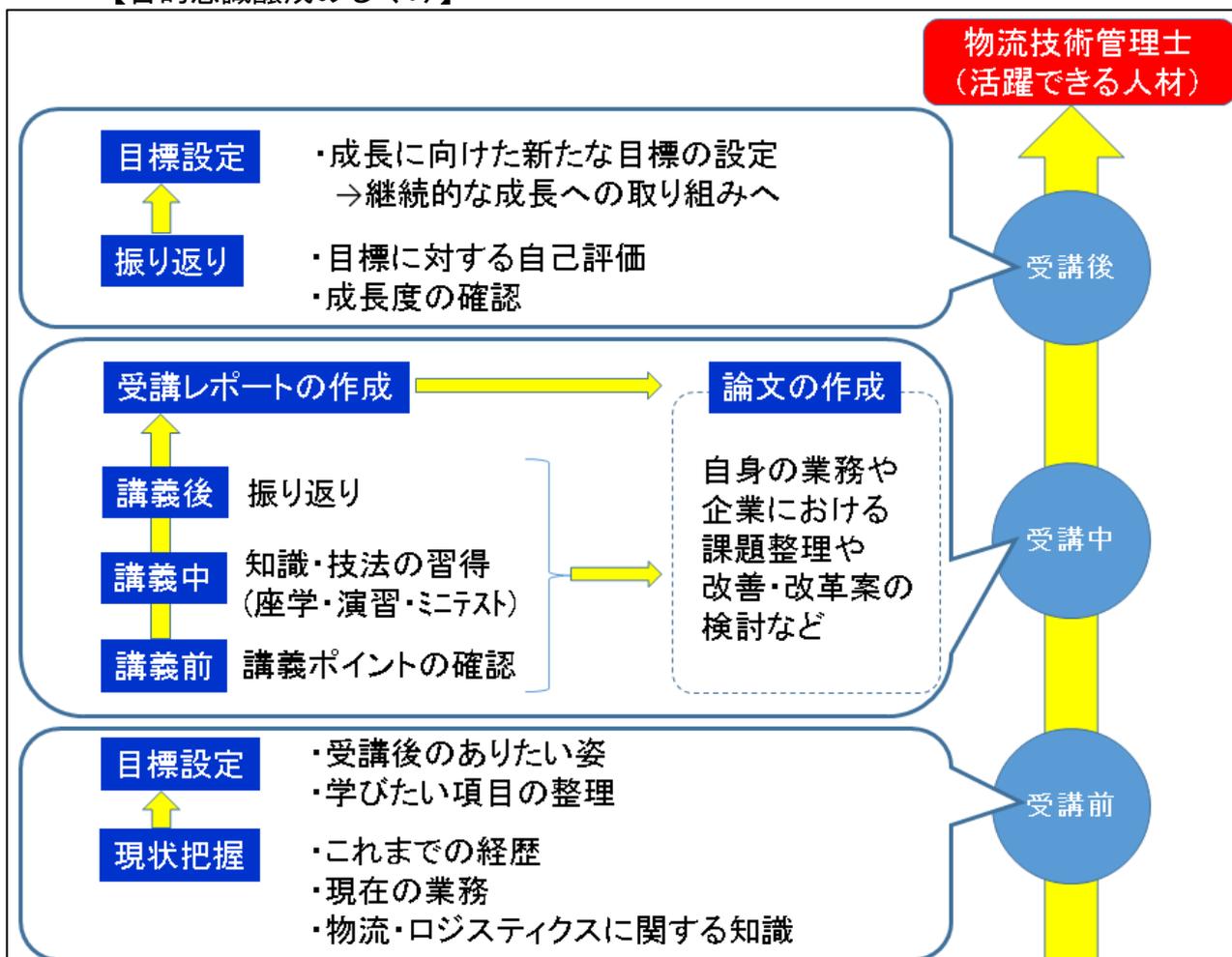
本講座では講義で学んだことをいかに実務に落とし込むかが本講座において重要なアウトプットと考えます。

受講者の方の「受講に対する目的意識」を高める仕組みにより、受講後における受講者自身の業務改善といった具体的な取り組みへの落とし込みを支援します。

●受講者の目的意識醸成のための仕組みを導入

受講者の方の「受講に対する目的意識」を醸成するために、受講前・受講中・受講後といった各段階にて、受講者の方に業務の棚卸しや現状把握、業務目標の設定等に取り組んでいただきます。また、派遣責任者の方にも各段階で関わっていただくことで、講座終了以降も継続的な人材育成を推進していく契機としてご利用いただきたいと考えています。

【目的意識醸成のしくみ】



●自身の業務と関連した受講レポート・論文の作成による実務への落とし込み

受講者の方には受講者ご自身の業務に関連づけて「受講レポート」や「論文」を作成・提出していただきます。

論文：論文試験の問題（テーマ）は、開講直後に出題されますので、「講座で学んだことをどのように論文に反映するか＝今後の業務にどう活かすか」といった意識をもって、全講義に臨んでいただくこととなります。

受講レポート：毎回の講義開始前に、当日の講義内容のポイントと確認する時間を設けるとともに、講義後に「理解できたこと／さらに学ぶべきこと」「実務へ展開できそうな事項」等を振り返るための時間を設けます。ここで整理した内容を反映させながら、受講レポートを作成・提出していただきます。

●カリキュラム内容の見直し

実務経験豊富な講師陣による講義だけではなく、「手を動かし、メンバー同士で考える」グループ演習、個人演習、ミニテスト等を拡充するため、講義で学んだ知識や技法を、実務で応用しやすくなります。

ポイント②：受講しやすくなりました！

物流の第一線で働く多忙な方でも安心して受講いただけるよう、受講のしやすさを見直しました。

・すべて2日間単位による講義構成

これまでは週3日間の連続講義といった講義日程もございましたが、すべて2日間の単位でご受講いただけるようになりました。

・講義に欠席した場合の対応方法の変更

資格認定のための出席要件の緩和等、欠席時の対応方法を見直しました。